

- 1 有難き法話聞きたび身に応こたえ 越前市 畠田 和代
- 2 ありがたや良き日悪しき日乗り越えて 越前市 十橋 春子
- 3 生かされて枝垂桜の花の下 八王子市 藤枝 昌文
- 4 いがみあう娑婆よりめざせおがみあう 越前市 田中 明浩
- 5 ウイルス禍仏のみ慈悲にすがりつく 越前市 青山 祐子
- 6 老いた今我が子の声にうれし涙 越前市 上山 豊子
- 7 老いてきて弥陀の一光手を合わす 鯖江市 齋藤 多恵子
- 8 老いてなほ深まる恵みご本願 越前市 千秋 マツ子
- 9 老いの道仏の慈悲に護られて 越前市 永田 〇工
- 10 老いる世が仏智の明かり永久に生き 越前市 玉村 明
- 11 王子ペンコロナ三密より強し 福井市 鈴木 弘之
- 12 王子山花はなけれど清き庭 越前市 宇野 はな江
- 13 起き臥しの出遇い嬉しき南無阿弥陀 敦賀市 東田 弘子
- 14 おきようはねほとけさまのアドバイス 王子白校 矢船 百花
- 15 送り来し法話テープに病癒え 長野市 海野 公子
- 16 押田坂のぼりてお詣り夢みつつ 越前市 山田 法子
- 17 おしやかさまお空でマスクしてますか 王子白校 中山 こと
- 18 お住持の称名に和す報恩講 宇佐市 小若 文弘子
- 19 お浄土のあの人恋し鳥も鳴く 越前市 山田 法子
- 20 おすそわけ法味楽しむ法の友 坂井市 佐々木 哲子
- 21 穏やかや法句詠む身に冬温し 敦賀市 東田 弘子
- 22 お念仏に心あづけて冬ぬくし 宇佐市 本多 加代子
- 23 お念仏申す利那が安楽土 越前市 熊野 幸治
- 24 お御堂は門徒が集い弥陀の舞 越前市 坂崎 吉二郎
- 25 思うようにいかぬ人生み手の中 新座市 釋徳清
- 26 親の恩かついで歩けば夢がわく 越前市 宇野 勝己

- 27 かけ足で年だけ重ねお念仏 越前市 十橋 春子
- 28 岩壁におはす一仏蔭の花 宇佐市 吉武 康子
- 29 気づかされ地獄一定が勿体無い 越前市 千秋 マツ子
- 30 草を取りカラスに語る今いのち 鯖江市 堀 由紀子
- 31 口ぐせは「それは仏法がないからや」 越前市 藤下 明順
- 32 苦の娑婆に往還掛ける不退橋 越前市 玉村 明
- 33 下品の下み名呼ぶ声は上の上 呉市 釋美妙
- 34 恒河沙は死せし一切の姿なり 函館市 榎原 佑倅
- 35 御遠忌を待ちて待たれしわが身かな 宇佐市 佐藤 麗子
- 36 木枯や眼窩が痛む忌明けの陽 函館市 高松 周環
- 37 ここは娑婆五珠さだま下ろしてただ念仏 越前市 愚石
- 38 五十年日校よろこぶ「はんぶんこ」 越前市 釋妙正
- 39 ご聴聞オンラインより生なまが良し 町田市 北嶋 公代
- 40 コロナ禍で足も遠のく秋の寺 福井市 下川 明秀
- 41 コロナ禍の結願日中席まばら 福井市 下川 達江
- 42 コロナ禍も法悦叶うテープの会 越前市 廣瀬 嘉夫
- 43 コロナ禍や3密さけての報恩講 越前市 坂崎 吉二郎
- 44 コロナ禍や弥陀にすがりて年の暮 加賀市 線谷 駿一郎
- 45 コロナ超え世界に告げる夢五輪 四日市市 渡邊 惇爾
- 46 コロナでも経は厳肅報恩講 新座市 藤枝 純教
- 47 コロナにも念仏負けずナマンドブ 越前市 宇野 はな江
- 48 コロナゆえお寺まいりもままならぬ 墨部市 島野 正明
- 49 ご和讃の心を説かれお念仏 越前市 玉村 嘉勇
- 50 さてきようはなんのマスクにしようかな 王子白校 廣瀬 昭子
- 51 自我捨てよ釈迦の教えの25世紀 新座市 藤枝 純教
- 52 王子白校 長田 佳歩
- 53 越前市 永田 〇工
- 54 鯖江市 畠田 和代
- 55 長野市 海野 公子
- 56 福井市 鈴木 弘之
- 57 宇佐市 本多 加代子
- 58 越前市 熊野 幸治
- 59 越前市 坂崎 吉二郎
- 60 新座市 釋徳清
- 61 王子白校 中山 こと
- 62 越前市 小若 文弘子
- 63 越前市 山田 法子
- 64 坂井市 佐々木 哲子
- 65 敦賀市 東田 弘子
- 66 宇佐市 本多 加代子
- 67 越前市 熊野 幸治
- 68 越前市 坂崎 吉二郎
- 69 新座市 釋徳清
- 70 函館市 高松 周環
- 71 函館市 榎原 佑倅
- 72 越前市 玉村 明
- 73 坂井市 佐々木 哲子
- 74 越前市 藤合 純子
- 75 越前市 高松 周環
- 76 越前市 榎原 佑倅
- 77 越前市 玉村 明
- 78 越前市 藤合 純子
- 79 越前市 高松 周環
- 80 越前市 榎原 佑倅
- 81 越前市 玉村 明
- 82 越前市 藤合 純子
- 83 越前市 高松 周環

- 53 自己過信捨てよコロナの一周忌 新座市 藤枝 純教
- 54 塾送りなんまんだぶに孫はなぜ 本等門徒 山田 清人
- 55 手術台命あずけてナムアミダ 鯖江市 村田 寛孝子
- 56 春曉に坐せば自づと重誓偈 八王子市 藤枝 昌文
- 57 浄土から側にいるよと姉兄が 鯖江市 堀 興作
- 58 鐘樓の雪も振るわす除夜の鐘 アメリカ Start Arkey
- 59 諸行無常いつも心に仏さま 越前市 矢船 麻子
- 60 除夜の鐘気付けば私の風物詩 越前市 村上 豪佑
- 61 除夜の鐘煩悩無尽の響きあり 四日市市 渡邊 惇爾
- 62 除夜の鐘無量寿経の扉開き 越前市 松原 征夫
- 63 神経痛さつと動けずみ手の中 越前市 万所 幸子
- 64 人生の真まことに出遇う和讃講 越前市 廣瀬 昭子
- 65 人生は運命さだめに添いて生きて行く 宇佐市 宇野 勝己
- 66 人生を紅葉みたいに舞ひをはる 越前市 松尾 由美子
- 67 世界中新型コロナ阿弥陀仏 鯖江市 齋藤 多恵子
- 68 相對をたのしむ我に育てられ 越前市 千秋 マツ子
- 69 祖母の手の念珠もぎとり孫合掌 新座市 釋徳清
- 70 大・感謝母の米寿やゴ・コロナ！ 越前市 田中 明浩
- 71 父も逝き弥陀様たよりあゆむ道 福井市 菅野 幸恵
- 72 手を合わせ心に描く弥陀の里 越前市 万所 喜代元
- 73 天も日もかぎろふ火煙み名聞きつ アメリカ 〇〇〇 〇〇〇
- 74 遠くには非ずここに阿弥陀さま 越前市 熊野 幸治
- 75 夏の宵ネット法話を独り聴く 敦賀市 東田 弘子
- 76 ナマンドブ我が身の奥に光りかな 越前市 坂崎 吉二郎
- 77 南無阿弥陀今日も感謝の旨い飯 越前市 津郷 壽世子
- 78 「偽者(にせもの)」と声高に聞く念仏(ねぶた)哉 函館市 榎原 佑倅
- 79 日校生曾孫と思ひて文を書く 坂井市 佐々木 哲子
- 80 念仏は撰取不捨の合言葉 福井市 下川 明秀
- 81 法の道念仏称え死ぬるまで 坂井市 杉田 時江
- 82 花に誦す「大悲無倦常照我」 八王子市 藤枝 昌文
- 83 母よりも生き長らえて八十近し 鯖江市 畠田 和代

- 84 パンタカはほうき一つできとったよ 王子白校 長田 佳歩
- 85 ひ孫の手大きい数珠かけお念仏 越前市 永田 〇工
- 86 ふと目覚め生きてる証なむあみだ 鯖江市 畠田 和代
- 87 法縁句ばあばのおめまぶた濡れ 長野市 海野 公子
- 88 報恩講あるらし寺の鐘ひびく 福井市 鈴木 弘之
- 89 忘恩の我にさいそく報恩講 宇佐市 藤合 知道
- 90 法友と出合えし今日の報恩講 中熊町 吉野 松子
- 91 仏さまコロナウイルスやつつけて 王子白校 中山 こと
- 92 ほとけの子なんまんだぶに育てられ 新座市 釋徳清
- 93 煩惱のマシユマロ待てる？うちのまご 越前市 田中 明浩
- 94 見たつもりもりの我が目どこにつく 長野市 海野 公子
- 95 弥陀の扉を閉めずお斎の果てるまで 函館市 高松 周環
- 96 身と心弥陀におまかせ娑婆の旅 越前市 玉村 明
- 97 御仏の左手に縫り除夜の鐘 越前市 高松 周環
- 98 もぎたての柚子手に傘寿お念仏 福井市 下川 達江
- 99 もったいな明日もわからぬこの命 越前市 宇野 はな江
- 100 八十過ぎて迷わず歩む法の道 越前市 廣瀬 嘉夫
- 101 鷲の字を半紙に清書す日校生 越前市 釋妙正
- 102 霊鷲山永久のみ教え鐘ひびく アメリカ 釋妙慧
- 103 臨終を待たずとも来る花明り 函館市 高松 周環
- 104 歴史初マスクに経を誦す僧は 函館市 榎原 佑倅
- 105 蓮如さまえきれいの文身にしみる 越前市 玉村 明
- 106 若き日の茨の道も今拝む 坂井市 佐々木 哲子
- 107 我が祖師は群萌となり弥陀に帰す 宇佐市 藤合 純子
- 108 吾卒寿祝い合う友別の世か 越前市 高松 周環

☆今回の『百八法句』には、アメリカ、北海道から九州にかけ68人から195句が寄せられました。割愛の分も含め原句は全部記録保存してあります。☆ご覧のように、今年にはコロナ禍一色になりましたが、やがて終息し、この法句集も「歴史的」記録の一つとなることを願っています。☆来年もまた、法友お誘いの上ふるってご投句下さい。投句数は自由です。締切は十二月十日厳守でお願いします。南無三宝 合掌 (編集子)